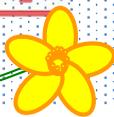




2016年
9月

開花時期の巻



アゼオトギリにゆーすの発刊!

～咲かせようアゼオトギリ 広げよう笑顔の花～

節目での情報発信を!

6月18日に開催しました勉強会から2ヶ月が経ちました。みなさまのお近くにあるアゼオトギリはどんな様子ですか?
三重河川国道事務所がお預かりしている、地域の皆さまが播種された株は元気に育っています。
また、挿枝から育てた株は旺盛に生長し、7月に入ってから花も見られるようになり、足を止めて眺めている職員も増えました。



事務所：7月27日撮影

新しい移植地で元気に育っています

今年、みなさまと移植を行った新たな移植地では、雨も少なく暑い日が続く中、64株中40株が元気に育っており開花や結実も見られるようになっていきます。

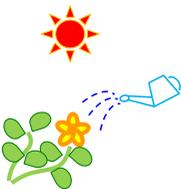


移植地：8月18日撮影



移植地：8月18日撮影

お近くにお越しの際には
ちよつと立ち寄り
てみては?



福井県にて新たな交流活動も!

8月6日に福井県立大学の吉岡教授よりお招きを頂き、福井・三重の生徒と活動をされている方の交流が福井県で催されました。



三重からは相可高等学校を始め、地域の方が多数参加され、福井県立大学にて勉強会、坂井市板倉地区にて現地見学を行いました。
福井と三重でのアゼオトギリの生育や活動について県境を越えた交流が図られ、今後の活動も期待です。



夏季調査の結果

自生地では他の草に負けず、多くの株が元気に育っています。移植地や播種地では、昨年消失した箇所新たな芽が生え、株の生長も確認できました。その他、開花や結実も確認できたので、来年は新しい芽が出ることが期待されます。



播種地：8月19日撮影



移植地：8月19日撮影

相可高等学校での研究成果

相可高等学校では佐奈川と福井のアゼオトギリの発芽について、共同研究が進められています。
発芽前の種を地中に埋めておいた場合、長期間埋まっている種は発芽率が低下するという結果が得られており、まだまだ謎が多い種であると感じました。



情報をお寄せ下さい

今年思ったよりも雨は降っていませんが、自生地や河川内移植地は元気に育っています。みなさまの移植地ではいかがでしょうか?
今年度に入り、保全活動は勉強会から始まり、福井との共同研究や交流が行われるなど、活動は広がりを見せています。
久居農林高校の多気町内への移植を行うと伺っており、高校生の研究や活動は、まだまだ広がりを見せています。皆さまも独自の試みなどございましたら事務局まで情報をお寄せ下さい。

雑草多し! 除草が必要では?

佐奈川の近くを通ると、すでに雑草が茂っている様子が目につきます。
河川敷では維持作業で除草も行っていますが、それでも追いつかないほどの勢いです。
昨年から観察していると、背の高い草よりもノコツメクサのような地面を這う様に伸びる草の方が難敵ではないかと。



移植地：8月18日撮影



アゼオトギリ

自生地：8月17日撮影

三重河川国道事務所
調査第一課 059(229)2216
多気町
建設課 059(86)1116
環境商工課 059(86)1118